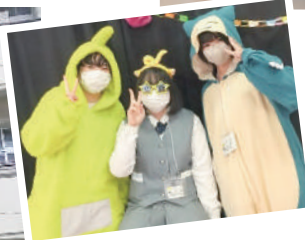


第54回

# 葛高祭

第54回葛高祭が9月29日と30日の2日間にわたり開催されました。今年のテーマ「WE ENJOY～全力で楽しめちゃうのなあぜなあぜ～」に沿ったさまざまな企画で、生徒たちは楽しい思い出の1ページを刻みました。

【写真提供:高校生記者】



高校生記者  
丸山晃奈(2年)・四作美結(2年)

私たちは生徒会として葛高祭を運営する立場で、バタバタと準備していましたが、みんなの楽しそうな笑顔を見ることができて嬉しかったです!クラス全員が仲を深めたり、友人や先輩との思い出を作る2日間にできたと感じます。

コロナウイルスの制限が緩和され、3年ぶりに制限なしの一般公開を行うことができ、一人一人の思い出に残る葛高祭になったと思います。葛高祭テーマの下、生徒会としてとても充実した期間を過ごすことができました!



## 葛高祭



町民駅伝大会で優勝  
9月27日、第29回葛巻町民駅伝継走大会一般男子の部で葛巻高校(丹内一郎、後藤棚智、上家爽雅、栗村脩斗、大畑勢那※いずれも1年生)が優勝しました。  
【関連記事6ページ】

## くずまき町民まつり

# 高校生の発想でビジネスを実践



①くずまきパンを開発した生徒の皆さん②発表会でパンを試食し講評する鈴木町長③2種類のクリームが入ったくずまきパンはパッケージにも高校生の意見を反映

### 白石食品と共同開発 町の特色かすパン

葛巻高校3年A組18人は10月21日、盛岡市の白石食品工業(株)(白石雄一社長)と共同開発した菓子パン「あまずっぱ!くずまきパン」をくずまき町民まつりの会場で発表し、販売しました。

この取り組みは商業科目の授業の一環で、地域の特産品を生かした商品を作りたいという高校生の思いに同社が応えたもので、2月から検討を重ねてきたものです。

くずまきパンは町産の牛乳を練り混んだ生地、ホイップクリームと山ぶどう果汁入りのクリームが入り、パッケージには山ぶどうが可愛らしくデザインされました。発表会で試食した鈴木重男町長は「2種類のクリームの味のバランスが良く、きつと売れる商品になる」と高く評価しました。

くずまきパンは1個120円で販売され、2日間で560個を完売。田子内凛さんは「開発では山ぶどう以外の食材を使う意見もあり、意見をまとめるのに苦労した。幅広い年代の人に味わってほしい」と今後の販売にも意欲を見せました。同社開発部の坂本一晃主任は「葛巻高校は積極的に、町のことをとてもよく学んでいる印象。地元愛を感じる商品になった」と話していました。

「あまずっぱ!くずまきパン」は11月1日から30日まで、東北6県のスーパーなどで販売されます。

### 各地の名産など販売 おどってマーケット

くずまき町民まつりの会場では2年A組の生徒による販売実習「おどってマーケット」も開催されました。

マーケットでは、山村留学生の出身地の名産品や、県内外の人気のお菓子など約20種類を販売しました。欲しい商品をなかなか仕入れることができずに苦労もしたと言います。

当日はマーケットののぼりを持って会場内を回るなどPRにも力を入れ、約30万円分を売り上げました。角口羽音



会計で商品を手渡す生徒



買い物客に丁寧に商品を紹介

さんは「思ったよりも売れてやりがいを感じた」、山岸快梨さんは「お客さんとコミュニケーションを取りながら楽しく接客できた」と振り返っていました。佐々木大空さんは「仕入れや値段設定など苦労もあったが、ビジネス科目で学んだことを生かせた」と貴重な経験に達成感を得た様子でした。